

住んでみたい 住み続けたい やまつり町

広報

小さくても輝く町

4 2011  
月号  
No.601

# やまつり

## 6年生を送る会での腕相撲対決～後輩に負けまいと歯を食いしばる6年生

- 特集・東日本大震災・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2～P7
- 平成23年度当初予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8～P9
- 町の動き・矢祭中学校卒業式・フードマイレージ事業・他・・・・P10～P15
- 幼稚園・小学校お別れ会・卒園式・卒業式・・・・・・・・・・・・P16～P17
- 狂犬病予防注射のお知らせ・3歳児歯科健診・・・・・・・・・・・・P18～P19
- すくすく赤ちゃん・俳句・わが家のイチおしこの一冊・・・・・・・・P20～P21
- タウンピックアップ・情報局・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P22～P25

被災地の皆さん、夜明けは必ず来ます。がんばってください。



# 東北関東大震災

## 町内にも被害

3月11日(金)14時46分ごろ、三陸沖を震源に発生した東北関東大震災(東北地方太平洋沖地震)は、国内観測史上最大となるマグニチュード9.0の地震を観測しました。これにより千葉県から青森県沿岸の広範囲にわたり、巨大津波が押し寄せ、未曾有の大災害が発生し、死者、行方不明者、けが人が多数出ました。

また、家屋をはじめとする建築物、工作物、交通車輛等あらゆる物が一瞬にして津波にのみ込まれ、がれきの山となり、信じがたい光景がテレビ映像から流れました。さらに12日午後には、東京電力福島第一原発1号機で水素爆発が発生し、周辺住民に避難指示が出され、続いて第2号機、第3号機、そして第4号機と爆発事故が続き、広範囲に放射性物質が飛散し、以前から恐れられていたことが現実となってしまいました。

本町でも、震度5強の激しい揺れが数分間続き、誰もが強い恐怖心と不安に駆られたのではないのでしょうか。役場では地震発生後、直に対策本部を設置し、町長をはじめ課長とグループ長以上が一昼夜庁舎に待機し、万一に備えた他、消防団も各地区で警戒態勢を執りました。また、漏水に伴う復旧工事は徹夜で任務に当たりました。

翌12日午前6時に全役場職員が登庁し、被害調査班を編成した後、町内の被害状況調査を行い、被害状況の把握に努めました。町内では、人的被害が1件もなかったことが不幸中の幸いでした。被害にあわれた皆様には、心からお見舞いを申し上げます。

調査結果は、次のとおりです。

- 建物崩壊・屋根瓦・壁破損 住宅40件、倉庫・蔵30件
- 石塀・ブロック塀の倒壊・灯籠等崩落 30件
- 道路等の亀裂等 15ヶ所
- 水路崩壊・窓ガラス破損・その他 14件



屋根瓦の崩落



屋根瓦の崩落



宅地の地割れ



壁の崩落



法面の崩れ



窓ガラスの損壊



敷地の地割れ

## 写真で見る被害状況



交通守護観世音菩薩像の倒壊



敷地の地割れ



石塀の崩れ



石塀の崩れ



酒販店内の被害



法面の崩れ(町道)



山肌も崩れる



# 震度5強の爪あと



屋根瓦の崩落



墓石の倒壊



倒壊した神社の石灯籠



石碑の倒壊(石井小)



建設業者との対応協議



道路の地割れ



土砂が道をふさぐ



倒壊した墓石



町道の地割れ

## 県内から受入れを開始 役場に避難者受入対策本部を設置

役場では、3月17日午前8時30分に全職員を召集した上で、町長を本部長とする避難者受入対策本部を設置し、全職員あげて支援活動を行うことを確認しました。副本部長に鈴木副町長と二階堂教育長が就き、事務局を町民福祉課と自立総務課に置き、食料・物資班、救護衛生班、ボランティア班、総務・情報管理班、被災者管理班の5つの班を編成しました。

各班は、班長を中心に避難所割振表をもとに、毎日2名ずつ交代で避難者の支援活動を行うとともに、土日は割当表により6名の体制で避難者の支援行動を執ることになりました。



支援を訴える町長



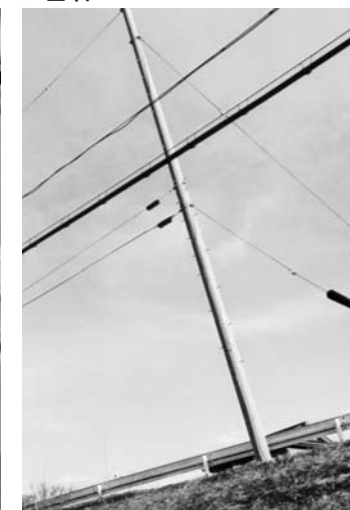
職員に支援活動を指示する町長



地震発生1週間後の14時46分全職員で黙祷



役場事務室の書類散乱



倒れかかった電柱



法面の崩れ



巨大地震を報じる新聞



法面の崩れ

広報やまつり H23. 4



卒業生が避難所を訪問

被災者へ心の贈り物

3月23日、東館小学校の卒業生25名が、卒業証書授与式終了後、東北関東大震災と福島原発事故で避難している被災者を励まそうと、山村開発センターを訪問しました。

山村開発センターには、いわき市、楢葉町、富岡町からの被災者40名が滞在しており、訪問した卒業生たちは、その被災者皆さんの前にすみやかに整列しました。そして代表の郡司英彰君が「希望を持って、明日に向かって進んでくれることを願っています」と激励のことばを贈ると、すぐに晴れの卒業式で唄うために練習してきた曲「遙か」（作詞・作曲 GReeN）の合唱が始まりました。

会場内には、子どもたちのやさしい歌声が響きわたり、被災者の皆さんはじっと聞き入り、今、置かれている現状に「なんで」という悔しさが滲み出ていました。この曲の歌詞は、聴く人の心を癒すもので、子どもたちも卒業式の日、この歌を唄い、被災者を励ましたというボランティア活動は、一生、忘れられない思い出となりました。



「なんで」の悔しさに涙も



じっと歌詞を見つめる被災者



歌に聞き入る被災者



心を込め唄う卒業生

激励のことばを贈る英彰君  
広報やまつり H23. 4

ゆうな  
避難している優和くん  
に修了証書  
がんばった子どもたちに皆勤賞

3月23日、避難している楢葉町の幼稚園児山澤優和君に、矢祭町教育委員会から特別に作成した修了証書を授与しました。優和君は「修了証書もらわないと小学校に入れない」と心配していたとことで、元気づけるため教育委員会で配慮し、本多文子東館幼稚園長から授与しました。

また、同じく楢葉町から避難し避難者のまとめ役である松本仁さんは、いわき市の浜野早苗さんら手作りの皆勤賞を、いわき市の小野愛華さん(10歳)と1年間無欠席登校した楢葉町の山澤世和君(8歳)に贈り、4月に入園予定の山澤陽和君(3歳)にも皆勤賞を手渡し、がんばりを讃えました。

さらに、教育委員会から「絆」の文字が描かれたTシャツが記念品としてプレゼントされ、思いがけないご褒美に本人たちはもちろん、後ろで見ていた被災者たちにも、ひと時の癒しの時間となりました。



本多園長から修了書もらう優和君



松本さんから皆勤賞を受ける愛華さん



ご褒美もらった山澤さん親子

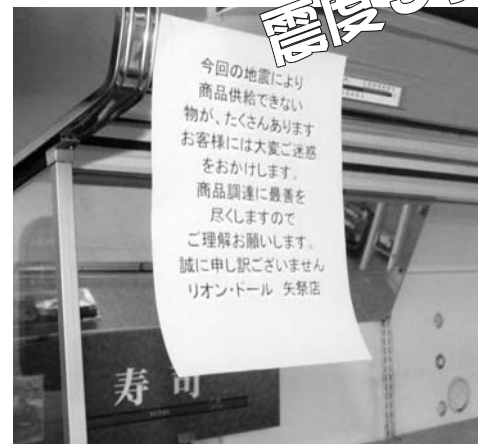


スーパーも品切れ



休業するスタンド

震度5強の爪あてこんな所にも



供給不足をわびる張り紙



買いだめ制限もむなく



品物が入らず休業



# 第4次総合計画スタート!



## すこやか赤ちゃん誕生祝金・健全育成奨励金

第1・2子 10万円  
第3子 100万円  
第4子 150万円  
第5子以上 200万円  
支給します。

17,500千円

## 幼稚園・小中学校給食費減免

幼稚園と小中学校の給食費の一部減免を増大します。

10,973千円

## 複式学級サポート事業

関岡・下関河内・内川小学校の複式学級に講師を2名ずつ配置します。

19,518千円

## 高田基金による教育支援事業

教育支援員の配置、各学校への学校支援費、児童・生徒表彰制度など。

10,305千円

## 結婚祝い金

結婚祝い金として1組20万円を支給いたします。(一定要件があります)

3,500千円

## 高校生奨学補助金

1名あたり20,000円を支給します。

4,000千円

## 児童・生徒医療費助成事業

医療費を中学生まで無料とします。

15,782千円

## 保育料減免

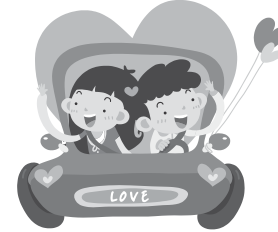
保育料は給食費を含め約50%減免します。

3,040千円

## 遠距離児童・生徒通学費補助金

バスの定期代や自転車購入費、自家用車送迎通学の一部を補助します。

12,093千円



## 《その他の主な事業》

■各種予防接種事業	16,063千円
■子育て応援事業(カンガルークラブ事業、育児支援家庭訪問他)	4,756千円
■妊産婦健診費助成及び乳幼児健診費	7,261千円
■児童クラブ設置事業(新たに石井を新設)	7,430千円
■国際交流員及び英語指導助手招致事業	11,540千円
■矢祭中学校3年生海外修学旅行事業	10,419千円
■子どもセンター建設事業(幼保一体化施設設計委託)	18,080千円
■小学校建設事業(大規模改造工事等設計委託)	12,000千円
■消防設備整備事業(防火水槽2基、小型ポンプ積載車購入等)	36,580千円
■橋梁長寿命化修繕計画策定事業	6,291千円
■浄化槽設置整備事業補助金	12,416千円
■町道改良事業(町道2路線)	91,384千円
■町道維持工事(町道3路線)	11,600千円
■県営広域農道・農免農道整備事業(東白川Ⅱ期・中石井2期)	43,867千円
■松くい虫防除事業(航空防除・伐倒駆除・衛生伐)	11,180千円

# 平成23年度当初予算の概要

平成23年度の当初予算が3月定例議会で議決されました。今年度は、一般会計29億5,500万円、特別会計15億1,794万9千円となっています。総額で44億7,294万9千円となり、前年度と比較すると3億3,513万1千円の増額、伸び率では約8.1%のプラスとなりました。予算編成にあたりましては、平成23年度より始まり第4次総合計画を基に、前年度に引き続き「子育てサポート日本一をめざして!」を中心に、町民皆さんにとって不可欠な各種施策を選別し編成しました。

一般会計の歳入は、一昨年度の世界的な経済恐慌が落ち着き、以前の景気動向に戻りつつあることから、低く見ていた法人税を例年並みに戻すことにより、対前年比約2千万円の増としました。地方交付税については、国の動向に注意し、前年並みとしました。また、基金については子育て支援にかかわる経費として、矢祭町ふるさとづくり基金より260万円、高田基金より959万3千円取り崩しております。また、第4次総合計画に伴います町債も、2億4,180万円の増となっております。歳出ですが、第4次総合計画に伴いまして、ハード面では消防小型動力ポンプ積載車及び動力ポンプの購入や、新たに2基の防火水槽の整備、子どもセンターの設計委託等を計画しております。ソフト面においては町独自の事業として引き続き、すこやか赤ちゃん誕生祝金の支給、また、結婚祝い金制度で片方が町外であった制度を、町内同士の結婚者まで拡充し、結婚支援に力を入れていきます。給食費についてはさらに負担軽減を図り幼・小・中それぞれ前年度より50円軽減しております。

特別会計は、平成23年度より老人特別会計が完全に後期高齢者特別会計に移行し、廃止となります。宅地造成事業においては、平成23年度に1区画売却を予定しています。また、矢祭町霊園は2月末現在で41区画中14区画売却しております。以上のように、平成23年度当初予算編成は第4次総合計画を基本に、子育て支援に係る施策を中心に住みよい町づくりを目指し編成いたしました。

《会計別対前年度比較表》

(単位:千円)

会計項目	平成23年度 当初予算額 ①	平成22年度 当初予算額 ②	当初予算額 比較 (①-②) ③	伸び率 (③/②)
一 一般会計	2,955,000	2,630,000	325,000	12.36
小計	2,955,000	2,630,000	325,000	12.36
国民健康保険特別会計	733,470	778,071	▲44,601	▲5.73
水道事業特別会計	129,004	117,000	12,004	10.26
老人保健特別会計	0	1,176	▲1,176	▲100.00
工場団地造成事業特別会計	8,199	10,400	▲2,201	▲21.16
宅地造成事業特別会計	8,832	8,500	332	3.91
農業集落排水処理事業特別会計	28,100	29,500	▲1,400	▲4.75
介護保険特別会計	482,844	445,151	37,693	8.47
後期高齢者医療保険特別会計	125,900	115,170	10,730	9.32
霊園事業特別会計	1,600	2,850	▲1,250	▲43.86
小計	1,517,949	1,507,818	10,131	0.67
合計	4,472,949	4,137,818	335,131	8.10

《一般会計歳入歳出別予算構成比率表》

(単位:千円)

歳入				歳出											
区	分	予算額	構成比率	区	分	予算額	構成比率								
町	税	613,440	20.8	人	件	費	580,330	19.6							
各	種	交	付	金	88,151	3.0	物	件	費	583,213	19.7				
地	方	交	付	税	1,300,000	44.0	維	持	補	修	費	11,818	0.4		
分	担	金	及	び	負	担	金	7,782	0.3	扶	助	費	317,703	10.8	
使	用	料	及	び	手	数	料	39,606	1.3	補	助	費	等	380,768	12.9
国	庫	支	出	金	194,077	6.6	投	資	的	経	費	321,443	10.9		
県	支	出	金	243,749	8.2	公	債	費	411,998	13.9					
繰	入	金	13,446	0.5	貸	付	金	11,000	0.4						
繰	越	金	10,000	0.3	繰	出	金	304,167	10.3						
諸	収	入	41,800	1.4	予	備	費	32,388	1.1						
町	債	393,500	13.3	そ	の	他	172	0.0							
そ	の	他	9,449	0.3											
計		2,955,000	100.0	計		2,955,000	100.0								



◎福島県天然記念物「戸津辺の桜」が間もなく開花します。樹齢600年のエドヒガン桜が優雅に花を咲かせます。ぜひお出かけください。

### 矢祭中学校で「並木丘賞」表彰式

3月4日、矢祭中学校(箭内三紀夫校長)で、平成22年度優れた実績を上げた生徒に贈る並木丘賞表彰式が行われました。式は、全校生徒が体育館に整列した中、表彰目的を説明した上で、①文化・学習部門8名②運動部門45名③功労部門6名④皆勤賞部門21名⑤善行部門11名⑥並木丘奨励賞29名が表彰されました。



金メダルの贈呈

表彰は、部門ごとに呼ばれた順に生徒が登壇し、箭内校長から一人ひとりにクリスタル盾が、また並木丘奨励賞には金メダルが贈られました。受賞した生徒の中には、クリスタル盾を受取った瞬間に「頑張ってたかった」という喜びが顔に浮かんでいました。

表彰は、部門ごとに呼ばれた順に生徒が登壇し、箭内校長から一人ひとりにクリスタル盾が、また並木丘奨励賞には金メダルが贈られました。受賞した生徒の中には、クリスタル盾を受取った瞬間に「頑張ってたかった」という喜びが顔に浮かんでいました。



クリスタル盾を受ける生徒

表彰は、部門ごとに呼ばれた順に生徒が登壇し、箭内校長から一人ひとりにクリスタル盾が、また並木丘奨励賞には金メダルが贈られました。受賞した生徒の中には、クリスタル盾を受取った瞬間に「頑張ってたかった」という喜びが顔に浮かんでいました。

### 二酸化炭素を削減するために 矢祭版フードマイレージ事業

3月12日に商工会青年部(宗田浩二部長)主催によるフードマイレージ植樹作業が、滝川溪谷入口の大掛地内国道349号線沿いで行われました。

当初、「植樹式」を行う予定でしたが、東北関東大震災が発生したため「式」は取り止め、青年部員による苗木の植樹作業だけを行いました。

フードマイレージ事業は、町内小売業23店舗の協力を得て、町内で生産された野菜や米、酒などに「Poco(ポコ)シール」を添付し、消費者がこれを購入し、シールを集めて専用の台紙に50枚貼り付けて応募することで、苗木に換えられるという事業を展開したものです。

今回、一般消費者から多数の応募があり、ツツジ苗木250本を植樹しました。

#### 「フードマイレージとは」

食べ物が運ばれてきた距離のことで、その時に出る「CO2」を測り、Poco(ポコ)という単位にして、食べることで「CO2」が出る。このつながりを分かりやすくしたものです。フードマイレージを理解し、意識して国産の食べ物を選ぶことで、自分が出す「CO2」を減らせます。未来のために、子どもたちのために、みんなで実践しましょう。



エコを呼びかける青年部員のみなさん



ツツジの植樹作業



卒業証書授与のようす



保護者と向き合い感謝を伝える卒業生

代表して鈴木雅恵さんが答辞を述べました。そして、在校生が「蛍の光」を、卒業生は「揚げば尊し」を斉唱し、最後に卒業生保護者代表の土屋吉子さんが謝辞を述べ、結びに全員で校歌を歌い、閉式となりました。

平成22年度第64回卒業証書授与式が、3月11日午前9時30分から同校体育館で挙行され、67名(男子32名・女子35名)が3年間学んだ学舎を後にしました。式は、在校生や保護者・来賓が拍手で迎える中、花道を卒業生が堂々と入り場し開式しました。国家斉唱、学事報告に続き、卒業証書授与が行われ、呼名された生徒は壇上に進み、箭内三紀夫校長から卒業証書を受けました。授与された後、生徒は保護者席に向かい、出席した父母に今まで育ててくれた感謝の気持ちを込めて、カーネーションを手渡しました。続いて、校長が「皆さんにはこの一年繰り返しお話ししてきた、感謝し人の役に立つ行いができる人に成長して欲しい。サッカーワールドカップで日本チームの活躍は、選手一人ひとりが夢や目標をしっかりと持って、地道に努力した結果であり、卒業生の皆さんにも同じ生き方を期待したい。皆さんなら必ずできるものと確信しています。」と式辞を行い、鈴木幹男教育委員長告辞、町長、藤井隆治PTA会長が祝辞を述べました。町とPTAからの記念品贈呈を行った後、在校生代表の大塚優也君が送辞、これを受け、卒業生を代表して鈴木雅恵さんが答辞を述べました。そして、在校生が「蛍の光」を、卒業生は「揚げば尊し」を斉唱し、最後に卒業生保護者代表の土屋吉子さんが謝辞を述べ、結びに全員で校歌を歌い、閉式となりました。

## 厳粛な中に美しい感動を残す 矢祭中学校第64回卒業式



"今までありがとう"

卒業証書授与



本の読み聞かせと作品のできるまで

肥田美代子さん講話

3月3日に県教育委員会指定「学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究事業」の一環として、また、子ども読書の街づくり事業の協賛により東館小学校(六戸仙助校長)で児童文学作家の肥田美代子さんを招いて、作家本人による「読み聞かせ」と「作品ができるまで」の講話を聞きました。東館小学校では、長年の念願だったオーサー・ビジットが実現し、なかよしホールに全校児童145名と先生14名が参集した中、肥田先生の歯切れのいい話し言葉で「作品ができるまで」の講話と読み聞かせに、終始、目と耳が引き付けられていました。また、読み聞かせ実技指導では、大勢の希望者の中から選ばれた2年生窪谷菜花さんが「ふしぎなおきやく」の読み聞かせを行い、肥田先生のアドバイスを受けていました。



講話する肥田先生



児童の目と耳が集中

読み聞かせ指導

オーサー・ビジットとは？ 人気の本の作者が教室を訪問し、その個性と得意分野の知識・技能を発揮して、語ったり、描いたり、写真を見せたり、得意ワザを披露することで、児童・生徒が本の面白さを知り、好奇心を育むことを目指すこと。

若鮎チャレンジサポーター事業表彰 子どもたちの勉強・スポーツの励みに

平成22年度若鮎チャレンジサポーター事業「表彰式制度」の表彰式が、3月9日、役場会議室で開催され、若鮎大賞4名、若鮎準大賞9名が表彰されました。

表彰式で、町長から「この表彰は、SMCの高田会長から寄付していただいた1億円を基に創設され基金で行っています。受賞された皆さんも高田会長のように素晴らしい人になれるよう勉強・スポーツに頑張ってください。」と挨拶し、受賞者一人ひとりに賞状を授与しました。

続いて、富永盛彦議長、鈴木幹男教育委員長から祝辞が送られた後、受賞者を代表し、矢祭中学校3年石井寿美さんが「今までの頑張りが、このような形で表彰され、うれしいです。今後も頑張りますので、応援をお願いします。」と御礼の言葉を述べ、式を閉じました。



受賞者の皆さん

- 若鮎準大賞(敬称略) 日下 綾菜(関岡小・6年) 第9回全国標語コンクール水産庁長官賞 石井 寿美(矢祭中・3年) 第29回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会 渡邊ちひろ(矢祭中・3年) 第7回全国博愛絵画展・秀作賞 鈴木 裕夏(矢祭中・3年) 第7回全国博愛絵画展・博愛賞 若鮎準大賞 金澤 温菜(東館小・5年) 県立図書館・国民読書年関連事業読書体験作文

寒い体育館に元気な声があびます 石井小学校で空手教室

「強い精神力と礼節を持つ豊かな心を培うこと、そして空手の技を覚え、体を動かすことができるようにすること」をねらいに、3月8日に石井小学校で空手教室が開催されました。講師は、国際空手道連盟極真会福島県本部馬道場の岩崎菜穂子さんで、今年で3回目の開催となり、児童たちにも空手道の予備知識が備わり、寒い体育館の中で素足になり訓練に励んでいました。空手は、礼節を重んじる武道であり、講師の指示や指導に対し、「オッス！」との返事がこぼれ、訓練では「セイヤ！セイヤ！」と気合を込めた声が響き渡っていました。



訓練に励む子どもたち



素足での訓練



講師の岩崎先生



"セイヤ!"

低栄養を予防 歯つらつ栄養教室

第5回目となる「歯つらつ栄養教室」が3月3日に山村開発センターで開催され、受講生ら14名が参加しました。



健康談義しながらの試食会

今回の教室は、管理栄養士藤田春江さんの「1日3食きちんと食べてバランスよく」と題した講話を聞き、その後、低栄養を予防し口腔機能の低下した高齢者でも食べやすい料理の試食会を行いました。試食は「にぎやかふりかけ」「五目とろろ汁」「ひな肉ヨーグルト味噌焼」「ほうれん草サラダ」「さつまいものおろしあえ」の5品で、食生活推進員が調理したメニューを参加者同士で健康談義しながら、味わっていました。



試食した5品

- 最優秀賞 菊内 美奈(石井小・5年) 第55回福島県たなばた展・銀河賞 嘉成はるか(石井小・6年) 第55回福島県たなばた展・奨励賞 松浦 楓奈(石井小・5年) 第55回福島県たなばた展・奨励賞 石井 寿美(矢祭中・3年) 第31回東北中学校陸上競技大会 小嶋 大斗(矢祭中・3年) 第42回東北中学校水泳競技大会 菊池 和史(矢祭中・3年) 第42回東北中学校水泳競技大会 富永智佳子(矢祭中・3年) 第55回福島県書きぞめ展・奨励賞 片野 里香(矢祭中・3年) 第55回福島県たなばた展・奨励賞



### 矢祭町交通対策協議会を開催

3月24日、役場会議室で、矢祭町交通対策協議会が開催され、新入学児童・園児の交通事故防止運動（4月6日から12日の7日間）と春の全国交通安全運動（5月11日から20日の10日間）の取り組みについて協議を行いました。今年の矢祭町の事故発生状況は、3月24日現在、人身事故1件、物損事故17件と前年と比べて減少しています。

さらに減少するよう安全運転を心がけましょう。

新入学児童・園児の交通事故防止運動  
スローガン

「あぶないよ会話にむちゅうの登下校」  
春の全国交通安全運動  
スローガン

「ぼくはここチャイルドシートが指定席」

### 第2回行政区長会 1年間の御苦労に感謝

矢祭町交通対策協議会に引き続き、第2回行政区長会が開催され、はじめに、町長から「大震災により2万人以上の死亡が予想され、被災された皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます。各区長様には1年間、町へのご援助を賜り御礼申し上げます。」と挨拶し、続いて感謝状贈呈が行われ、町長から一人ひとりに贈呈し、1年間の区長業務の労を労いました。



会議の様子



感謝状贈呈

会議では、各課長から所管事業等に対する協力御礼が述べられ、区長からは福島原発事故に関する速やかな情報伝達の要望やIP告知システムの早急な運用の要望がありました。

最後に、長田辰夫区長会長が挨拶を行ない、閉会となりました。

### 全国青年農業者会議プロジェクト発表 鈴木秀典さん最優秀賞に

3月1日〜3日に東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された、第50回全国青年農業者会議プロジェクト発表地域活動の部に、東北代表で出場した中石井字黒助の鈴木秀典さんは、見事、最優秀賞に輝き、鹿野道彦農林水産大臣から表彰されました。

鈴木さんは、3月7日に県南農林事務所農業振興普及部白石芳雄経営支援課長と役場を訪れ、町長に受賞報告するとともに喜びを語りました。

鈴木さんの発表課題は「4Hクラブから地域へ！耕畜連携の絆づくり」とし、地域の稲作農家と畜産農家との仲介役を担いながら、自らが地域で活用されていなかった稲ワラの有効利用を図り、畜産農家のたい肥を農地に還元する作業を受託することで、①所得の確保、②地域の水田の地力向上、③国産粗飼料の確保を実現するというプロジェクトに取り組むことをまとめ、発表したものです。



受賞報告した鈴木さん



表彰式会場にて

### 福島県知事賀寿贈呈

3月7日で満百歳を迎えたせせらぎ荘に同居している宮崎ノブエさんに、県知事賀寿が贈呈されました。

贈呈式は、同日ユニーアイホームで入所者や家族・関係者らが大勢出席した中、知事賀寿と記念品（会津塗り木杯）が県南保健福祉事務所二瓶副所長から贈呈されました。続いて、町長から賀寿と記念メダル、町社会福祉協議会長（町長）から記念品、町高齢者クラブ連合会佐川象雄会長からも記念品が贈呈されました。

さらに、せせらぎ荘入居者代表の鶴沼タカさんから大きな花束が、家族からはバラの花束が贈られ、ノブエさんはしっかりと口調で御礼の挨拶を行いました。そして家族を代表し、二女の小松智世美さんから謝辞が述べられ、おめでたい百歳の誕生日を祝いました。



知事賀寿を受ける

### 聞きましたノブエさんの長寿の秘訣？

登山がしたくなり、60歳過ぎから歩いて体力づくりを始め、電柱を何本歩いたかで何km歩いたかを計算。70歳から登山を始め、県内はもろん、鳥海山、早池峰山、栗駒岳、八甲田山などの山々を登った。山の写真を撮ることも楽しみで、今まで3台くらいカメラを買い換えた。今は短歌をつくるのが趣味で、町の短歌会にも入会している。また、NHK短歌への投稿もし、短歌の短冊が届いている。



記念品の木杯受領

### まだまだ見受けられます 家庭でのゴミ焼却は厳禁です!!

家庭から出るゴミ等の焼却は、一部の例外を除き禁止されています。庭先などの無施設焼却、地面に穴を掘っての焼却、或いはドラム缶などでの焼却は禁止行為です。ゴミを燃やすことにより、悪臭や煙による近隣への迷惑、環境面からも身体に悪影響を及ぼすダイオキシン類など有害物質が発生し、大気汚染等につながります。また、火災の原因にもなります。法に違反して野外での焼却を行いますと、違反者には罰則が適用され、個人の場合で5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金、又はこれらの併科に処せられます。

また、農業用ビニール類やタイヤ、産業廃棄物に当たる物の焼却は、さらに厳しく禁止されています。警察署でも警戒パトロールを実施していますので、絶対にやらないでください。

家庭では、できるだけゴミを出さない工夫をし、ごみの量を減らすよう努力してください。



### 年金の現況届は切手を貼らずに役場へ

年金の現況届は、必ず誕生月の20日までに切手を貼らずに役場に届けてください。

なお、住民票コード記入欄は書かなくて結構です。役場で一括まとめて日本年金機構へ送付しますので、ぜひご利用ください。どうしても自分で出す場合は、切手を貼って投函してもかまいません。

この現況届は、年金を受給されている方が引き続き年金を受給する権利があるかどうかを確認するためのものです。



# 大震災の影響はここにも



東館小学校



関岡小学校



東館幼稚園



石井幼稚園



内川小学校

**止むなく臨時休園・休校  
慎ましく卒園式・卒業式を実施**

町教育委員会は、東北関東大震災並びに福島第一原発事故による緊急非常事態を受けて、園児や児童・生徒の安全確保の観点から、幼稚園と小中学校を3月15日から22日までの間、臨時休園・休校とする措置を講じました。

これにより18日に予定していた東館・石井両幼稚園の卒園式は、23日に延期し、園児と保護者・先生だけで行われました。

なお、終業式は、下関河内小学校、関岡小学校、内川小学校の3校は実施しましたが、東館小学校と石井小学校は実施を見合わせ、平成22年度学業のすべてを修了いたしました。



石井小学校



下関河内小学校



下関河内小学校での一コマ



石井小学校での一コマ



東館小学校での一コマ



内川小学校での一コマ



関岡小学校での一コマ

## お別れ会や6年生を送る会

3月は別れの月で、幼稚園や小学校では「お別れ会」や「6年生を送る会」が開催されました。

まず、幼稚園では年少児から卒園する年長児へありがとうの気持ちを込めた、出し物が披露されたり、プレゼントが渡されたりと、園生活での楽しい思い出の一つとなりました。

小学校では、児童会行事として「6年生を送る会」が行われ、各校とも今までお世話になった6年生に寸劇やクイズ、歌や踊りなど創意工夫した出し物を披露したり、スポーツやゲームを通して交流を図ったりと感謝の思いを伝えていました。卒業を間近に控えた6年生には、思い出に残る貴重な時間となり、会場内には、たくさんの笑顔と元気な声がかましていました。また、鼓笛隊も引継ぎが行われ、最後には6年生からお礼の気持ちを込めた歌やことばが発表されました。



# 3歳児健康診査「歯科健診」を実施したよ。

乳歯は、エナメル質が薄く、やわらかいので、虫歯になりやすい特徴があります。仕上げみがきは、必ずしてあげてください。虫歯ゼロの優良児(19名中10名)みんなの顔を紹介します。



**虫歯になんか負けないぞ〜。**  
自分の歯は、大事な大事な一生の宝物だよ。



みんなもいっしょに歯磨きしようよ!

※今月の「はつらつ健康」保健だよりは休ませていただきます。

# 飼い主の皆さんへ

## 狂犬病予防注射のお知らせ

飼い犬は、狂犬病予防法で年に1回狂犬病予防注射の接種が義務づけられています。愛犬のために、必ず接種を受けてください。飼い主は、ルールとマナーを守り、愛犬の世話をお願いします。

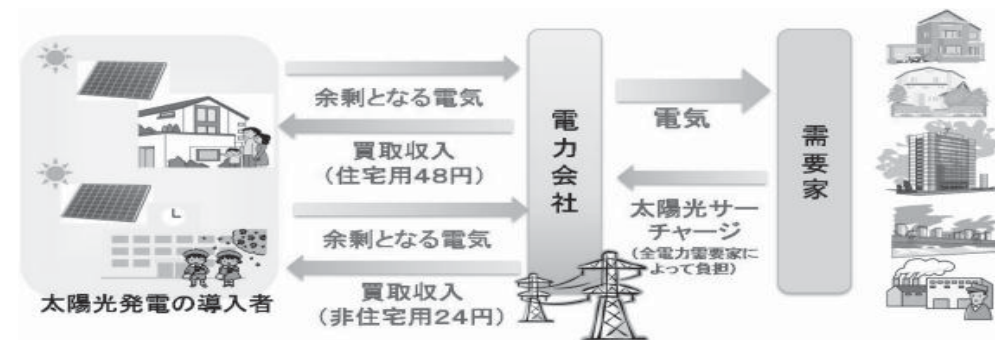


月日	実施時間	実施場所	月日	実施時間	実施場所	月日	実施時間	実施場所	
4月26日(火曜日)	8時45分~8時55分	早房 星 金男氏宅前	4月27日(水曜日)	8時45分~8時55分	久保橋前	4月28日(木曜日)	8時45分~8時55分	上野内 金澤 寛氏宅前	
	8時57分~9時05分	黒助 菊池 英夫氏宅前		8時57分~9時05分	谷地下 吉田 哲也氏宅前		8時57分~9時05分	鍛冶内 三浦 宏之氏宅前	
	9時07分~9時15分	柵・舟見集会所前		9時07分~9時15分	宇津久橋前		9時07分~9時15分	清水内 薄井 整氏宅前	
	9時17分~9時25分	舟見 菊池清文氏宅前		9時17分~9時25分	久曾渡橋前		9時17分~9時20分	日向内 陳野 智之氏宅前	
	9時27分~9時40分	館谷 中石井多目的集施設前		9時27分~9時35分	トキノ 菊地 利和氏宅前		9時22分~9時30分	竹ノ内 片野 一郎氏宅前	
	9時42分~9時50分	中石井パチンコ店跡地		9時37分~9時45分	中村 古市 康夫氏宅前		9時32分~9時45分	手元 豊田 康氏宅前	
	9時52分~10時00分	小野沢集会所前		9時47分~10時00分	内川保健福祉館前		9時47分~9時55分	手元 豊田 龍壽氏宅前	
	10時02分~10時15分	JA石井ふれあい店舗前駐車場(旧JA石井出張所前駐車場)		10時03分~10時10分	栗木平橋前		9時57分~10時05分	押 館 古市 武氏宅前	
	午前10時17分~10時25分	仲 緑川ガソリンスタンド前		午前10時13分~10時20分	10時13分~10時20分		10時07分~10時15分	10時07分~10時15分	入宝坂 片野 一也氏宅前
	10時27分~10時35分	下石井多目的共同利用施設前		10時23分~10時30分	10時23分~10時30分		10時20分~10時25分	10時20分~10時25分	川 岐 薄井 政廣氏宅前
	10時37分~10時45分	細内 鈴木 敏氏宅前		10時33分~10時40分	10時33分~10時40分		10時30分~10時35分	10時30分~10時35分	柳 町 菊池 友幸氏宅前
	10時47分~10時55分	入山 正覚院前		10時43分~10時50分	10時43分~10時50分		10時37分~10時45分	10時37分~10時45分	鶴ヶ池 佐藤 慶一氏宅前
	11時00分~11時10分	山崎 ポインター跡地		10時55分~11時05分	10時55分~11時05分		10時50分~11時00分	10時50分~11時00分	追分T字路交差点前
	11時12分~11時20分	戸塚農業構造改善センター前		11時20分~11時25分	11時20分~11時25分		11時05分~11時15分	11時05分~11時15分	馬渡戸公民館前
11時22分~11時30分	池袋 旧藤井建設事務所前	1時05分~1時15分	1時05分~1時15分	11時25分~11時30分	11時25分~11時30分	東山 佐藤 一郎氏宅前			
11時32分~11時40分	金沢 石井憲一郎氏宅前	1時17分~1時25分	1時17分~1時25分	1時05分~1時15分	1時05分~1時15分	矢祭中学校バス停留所前			
11時42分~11時50分	金沢 旧りんご直売所前	1時35分~1時40分	1時35分~1時40分	1時16分~1時25分	1時16分~1時25分	館本 高信 怡彦氏宅前			
1時05分~1時15分	矢祭中央団地駐車場	1時50分~1時55分	1時50分~1時55分	1時26分~1時30分	1時26分~1時30分	矢祭町商工会前駐車場			
1時17分~1時30分	旧山野井公民館前	1時57分~2時05分	1時57分~2時05分	1時31分~1時35分	1時31分~1時35分	石田 鈴木運送店駐車場			
1時35分~1時43分	天神沢 古張 允氏宅前	2時07分~2時15分	2時07分~2時15分	1時36分~1時40分	1時36分~1時40分	反田 金澤医院前			
1時47分~1時55分	飯野 増子 進氏宅前	2時17分~2時25分	2時17分~2時25分	1時42分~1時50分	1時42分~1時50分	小田川 Jアライスセンター入口			
2時00分~2時10分	滝ノ沢 菊池 平輔氏宅前	2時27分~2時40分	2時27分~2時40分	1時52分~2時00分	1時52分~2時00分	大高 菊地 芳包氏宅前			
2時12分~2時20分	江戸塚 高澤 守氏宅前	2時42分~2時50分	2時42分~2時50分	2時02分~2時10分	2時02分~2時10分	小田川消防屯所前			
午後2時22分~2時30分	小坂集会所前	2時52分~3時00分	2時52分~3時00分	2時12分~2時20分	2時12分~2時20分	中坪 佐川 憲成氏宅前			
2時32分~2時40分	関岡 佐藤 庄平氏宅前	3時02分~3時10分	3時02分~3時10分	2時22分~2時30分	2時22分~2時30分	小田川地区多目的集施設前			
2時45分~2時55分	板橋 金澤 利美氏宅前	3時12分~3時20分	3時12分~3時20分	2時33分~2時45分	2時33分~2時45分	ニュータウン中山多目的集施設前			
3時00分~3時05分	矢祭 山観光センター前	3時23分~3時30分	3時23分~3時30分	2時47分~2時55分	2時47分~2時55分	沼ヶ沢 沼田 一夫氏宅前			
3時07分~3時15分	矢祭 菊池 作市氏宅前	3時33分~3時40分	3時33分~3時40分	3時02分~3時10分	3時02分~3時10分	矢祭町役場前			
3時17分~3時25分	高高原 石井 近光氏宅前	3時42分~3時50分	3時42分~3時50分						
3時27分~3時40分	宇津木 石井 信次氏宅前	3時52分~4時00分	3時52分~4時00分						

※交通事情により、多少の時間のズレはご了承願います。早めにお出かけください。  
※時間の都合上、指定場所以外での注射は行いませんのでご了承願います。

## 太陽光発電の余剰電力買取制度とは

「エネルギー供給業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー減量の有効な利用の促進に関する法律」に基づき、平成21年11月から太陽光発電の余剰電力買取制度がスタートしています。本制度に伴う太陽光発電促進付加金の実質負担が、この4月分の電気料金(標準家庭で月に3~21円程度)から始まります。負担いただいた料金は、太陽光発電の普及のために使われます。太陽光発電による電気が、自宅等で使う電気を上回る量の発電をした際、その上回る分の電力を、1キロワット時あたり48円等(※)で10年間電力会社に売ることができる制度です。買取りに必要となる費用は、電気の使用量に応じて電気を利用する方全員で負担する「全員参加型」の制度となっています。



この制度により日本の太陽光発電の導入量を拡大することで、エネルギーの海外依存度が高い我が国のエネルギー自給率の向上や、地球温暖化対策、さらに我が国のものづくり技術を活かした環境関連産業の成長にも大きく貢献できるものと期待されています。



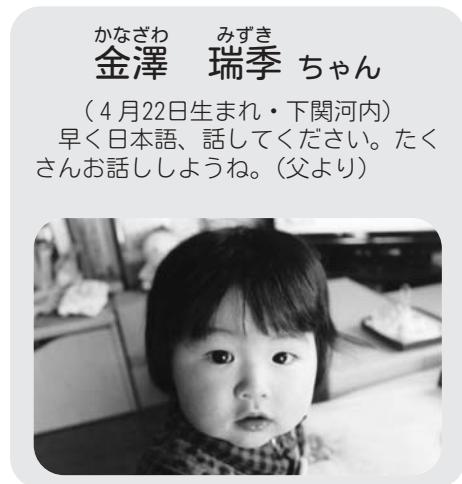


とみなが そうし  
**富永 颯史 ちゃん**  
(4月12日生まれ・下関河内)  
2ヶ月早く生れた時には心配もありましたが、元気にスクスク成長しています。(父・母より)



はなみ れん  
**花見 連 くん**  
(4月22日生まれ・東館)  
ごはんをもりもり食べる連くん。パパとママはとっても嬉しいです。たくさん食べて大きくなってね。(パパ&ママより)

**あくあく  
満1歳**  
お誕生日おめでとう!!

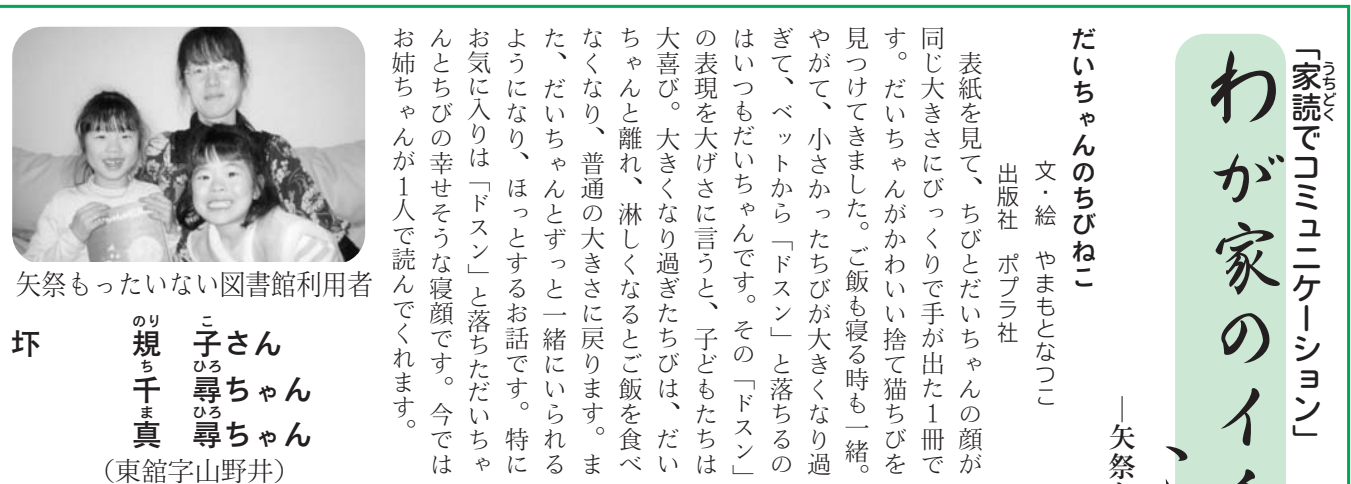


かなざわ みずき  
**金澤 瑞季 ちゃん**  
(4月22日生まれ・下関河内)  
早く日本語、話してください。たくさんお話ししようね。(父より)

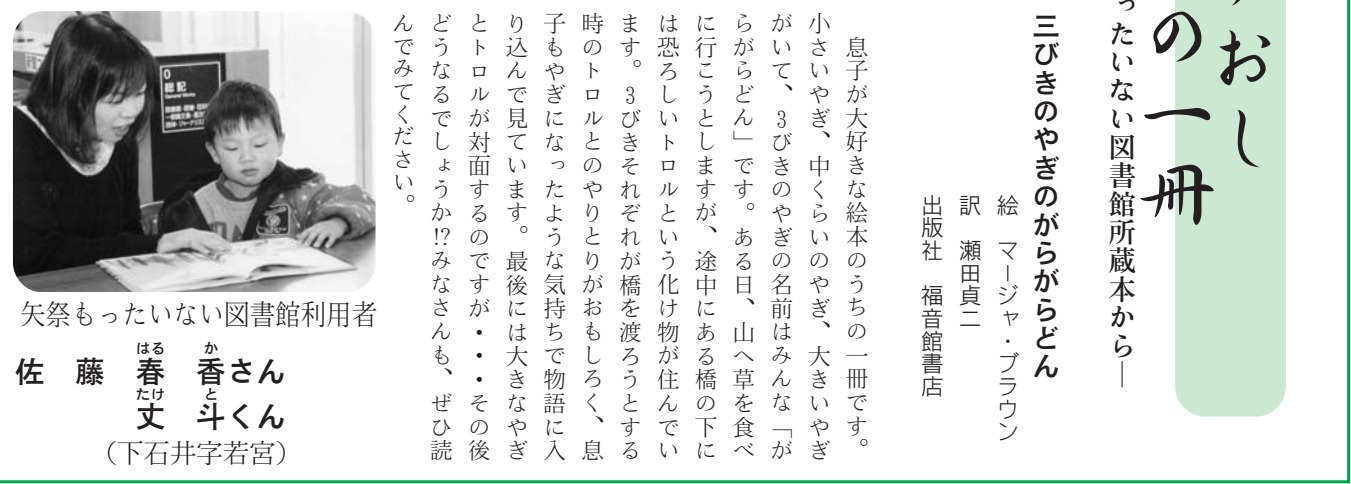
**町営住宅の入居者を公募中**  
町では、毎月1日から15日までの募集期間で、町営住宅(南石井団地・矢祭中央団地・東館団地)の入居者を公募しています。

■南石井団地	形式(簡2・2DK)	家賃月額	11,900円	7戸
■矢祭中央団地	形式(簡2・3DK)	家賃月額	19,400円	8戸
■東館団地	形式(中耐・2DK・老人用)	家賃月額	16,900円	2戸
	形式(中耐・3DK)	家賃月額	20,500円	1戸
	形式(中耐・3LDK)	家賃月額	22,000円	1戸

※入居希望者又は詳しいことについては、役場事業課・事業グループ(TEL46-4577)へお問い合わせください。



**「家読でコミュニケーション」**  
**わが家のイチおし**  
**この一冊**  
だいちちゃんのちびねこ  
文・絵 やまもとなこ  
出版社 ポプラ社  
表紙を見て、ちびとだいちちゃんの顔が同じ大きさにびっくりで手が出た1冊です。だいちちゃんがかわいい捨て猫ちびを見てきました。ご飯も寝る時も一緒。やがて、小さかったちびが大きくなり過ぎて、ベットから「ドスン」と落ちるのはいつもだいちちゃんです。その「ドスン」の表現を大げさに言うと、子どもたちは大喜び。大きくなり過ぎたちびは、だいちちゃんと離れ、淋しくなるとご飯を食べなくなり、普通の大きさに戻ります。また、だいちちゃんとずっと一緒にいられるようになり、ほっとするお話です。特にお気に入り「ドスン」と落ちただいちちゃんとちびの幸せそうな寝顔です。今ではお姉ちゃんが1人で読んでくれます。



息子が大好きな絵本のうちの1冊です。小さいやぎ、中くらのやぎ、大きいやぎがいて、3びきのやぎの名前はみんな「がらがらどん」です。ある日、山へ草を食べに行こうとしますが、途中にある橋の下には恐ろしいトロールという化け物が住んでいます。3びきそれぞれが橋を渡ろうとする時のトロールのやりとりがおもしろく、息子もやぎになったような気持ちで物語に入り込んで見えます。最後には大きなやぎとトロールが対面するのですが・・・その後どうなるでしょうか!?みなさんも、ぜひ読んでみてください。

三びきのやぎのがらがらどん  
絵 マーシャ・ブラウン  
訳 瀬田貞二  
出版社 福音館書店

**やまつりの「文化・スポーツ団体」紹介コーナー④**

**F.C. Oriundo (オリウンド)**

◇代表者 星 昌綱 会員数20名  
◇平成15年4月設立  
◇団体紹介  
年齢を問わずサッカーを楽しみたいメンバーでやっています。週1回水曜日、暇つぶしから運動不足やストレス解消のため汗を流しています。以前は、大子の奥久慈リーグに参加していましたが、現在はリーグが行われていないので、今後はフットサル(室内で行われるサッカーに似た競技)などの大会に参加していきたいと思っています。



**「東館囃子会」**

◇代表者 小室裕記 会員数10名  
◇平成18年10月設立  
◇団体紹介  
私たち東館囃子会は、「太鼓の音色に心が踊る」そんなメンバーが集まり、平成18年に結成された会です。現在は10名の会員が月に2回(第1、第3水曜日)開発センターをお借りして練習に励んでおります。少子化で若者の数が少なくなっている中で、お祭を盛り上げ、「少しでも町が元気になれば嬉しい」との思いで、平成19年からは天王祭にも参加させていただいております。太鼓に興味のある方、是非見学してみてください。大歓迎です!



**俳句**

小春日や救い無き服眺めおり  
物干台風真向に春シヨール  
二つ三つ初音散らして去りしかな  
惨状の画像に泣きしこぶしかな  
早春の野の産声を聞きにゆく  
まんさくに会いたくてゆく粗き風  
三椏の花のみ咲いて空隠居  
紅梅に引き寄せられて歩みけり  
春愁や屈みて見詰む足の爪  
大規模な地震に絶句冴返る  
洗い髪手櫛で梳いて春の雲  
梅の香と気付き不思議な安堵感  
笏失せし雄雞の白き十指かな  
春の雪鳩の三ツ指すぐ消ゆる  
山風の粗きよ裾の梅白し  
春寒や汁椀に浮く揚げ豆腐

石川 柳子  
鈴木 良夫  
金沢 タツ  
蓮見 ふゆ  
佐藤 たつ江  
松本 志津子  
鈴木 幸子  
鈴木 正則

ふきの芽俳句会



## スポーツシーズンが到来 矢祭町体育協会で総会

矢祭町体育協会（佐川芳正会長）の平成22年度総会が、3月4日登録団体代表者が出席し、中央公民館で開催されました。

総会は、佐川会長が挨拶、町長、富永議長が来賓祝辞を行った後、前野球協会長の鈴木敏男さんに感謝状が贈呈され、また県南支部グラドゴルフ大会で準優勝した鈴木登司夫さんに優秀選手賞、県民スポーツ県南大会壮年ソフトボールで準優勝した東館ソフトクラブ（佐川正和監督）と同じくソフトテニスで3位入賞した矢祭ソフトテニスクラブ（金澤由勝代表）に優秀団体賞が贈呈されました。



総会のようす

議事は、平成22年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告が承認され、新年度の事業計画、収支予算について審議が行われ、原案どおり決定いたしました。役員改選では、新会長に永山勝範副会長が就き、以下は次のとおり選出されました。

- （敬称略）
- 副会長 深谷良太郎（再任） 小口進（新任）
- 監事 中野寿夫（再任） 松村良一（再任） 鈴木修一（再任）

## 矢祭町教育委員に任命書交付

3月15日開催の臨時町議会で、教育委員再任に満場一致で同意された鈴木幹男氏（東館）に対する任命書交付式が、3月22日に役場大会議室で幹部職員が同席した中、行われました。



任命書を受ける鈴木氏

式は、町長から鈴木氏に任命書を交付した後、「鈴木委員さんには再任をお願いした。長年の教職経験を活かし、本町の教育行政にお力添えをお願いしたい」と挨拶。鈴木委員から「現代は急速に変化する時代の中にあり、これからの教育を考えた時、勉強とともに心身正しい子どもたちを育てていきたい」と2期目就任の挨拶を述べました。任期は、3月22日から平成27年3月21日まで4年間です。

## 関岡小学校食育推進実践校表彰で優良賞

福島県教育委員会主催による平成22年度朝食摂取率100%週間運動「食育推進実践校表彰」で、関岡小学校（猪狩照良校長）が優良賞に選ばれました。

この表彰は、6月と11月の「朝食摂取率100%週間運動」への参加、年間を通じた食育の成果が顕著な幼稚園や学校が表彰されるもので、77校が応募した中から選ばれたものです。これを受け、3月7日に役場町長室で、二階堂教育長から優良賞が伝達されました。



二階堂教育長から伝達

## スギ・花粉

東白川地方も本格的な飛散が始まり、花粉症に悩む皆さんには嫌な季節がやってきました。

昨年夏の猛暑の影響と日照時間が長かったためか、雄花の付きも例年以上に多くなり、今年の花粉飛散量は、昨年の5〜10倍とも予想されています。花粉の飛散のピークは、4月上旬頃とみられており、花粉症に悩む皆さんは自己防衛に徹してください。



飛散する大量の花粉

スギの雄花がたっぷり

## 28組のカップルに祝い金贈呈

3月14日、役場会議室において、今年度第4回目の結婚祝い金贈呈式が行われ、4組のカップルが出席し、町長から結婚祝い金10万円を贈呈しました。贈呈後、町長から「夫婦仲よくし、一日も早く子宝に恵まれるよう、そして将来の町・国を担う人材を育成していただきたい」とお祝いの言葉が贈られました。さらに、30日には5回目の贈呈式を行い、2組のカップルに祝い金を贈呈しました。

今回贈呈したのは、次のカップルの皆さんで、今後の末永い幸せをお祈り申し上げます。

- （敬称略）
  - 豊田裕一・香澄（宝坂）、蓮見美喜男・智美（小田川）、佐川怜・恵美（中石井）、菊池真武・絵里（宝坂）、富永亮太・瞳（東館）、益子卓也・綾（宝坂）、陣野泰成・理恵子（関岡）
- ※平成23年度からは町内同士の婚姻でも祝い金を支給することになりました。

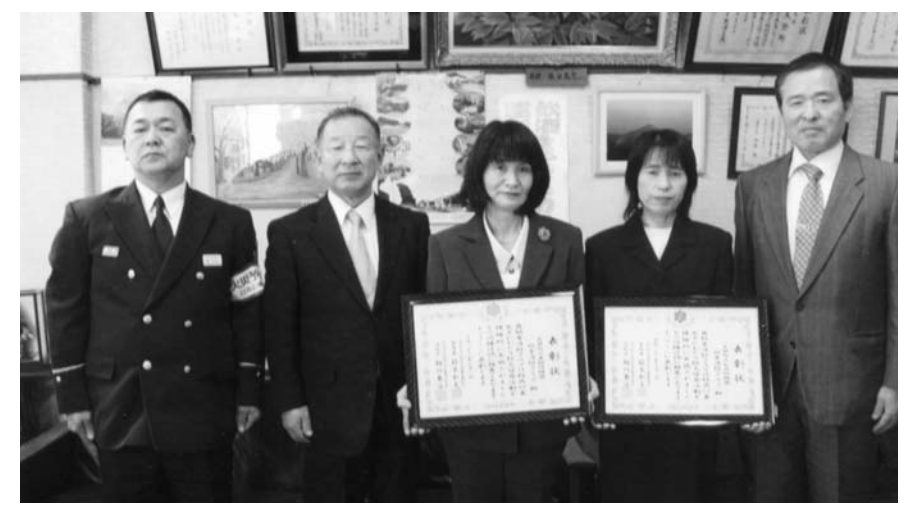
## 白河地方広域市町村圏消防本部表彰 東館・石井両幼稚園幼年消防クラブが受賞

3月1日に平成22年度白河地方広域市町村圏消防本部表彰式が白河市の白河消防本部で開催され、席上、東館・石井両幼稚園幼年消防クラブが消防協力団体として表彰されました。

表彰式に出席した東館幼稚園本多園長と石井幼稚園小室園長は、帰町後、同伴した深谷矢祭分署長とともに役場を訪れ、町長と二階堂教育長に受賞を報告しました。

石井幼稚園幼年消防クラブは、昭和57年12月に結成。以来、園児たちに火災予防を主として消防研修を行い、火災予防の普及徹底を図り、安全な避難方法を体得させるなどの活動を実施してきました。主な活動は、避難訓練を3回、花火指導1回、防火活動1回、その他に入団式や幼年消防大会への参加などを行っています。

東館幼稚園幼年消防クラブは、昭和58年7月に結成。園児たちに火に対する正しいしつけを身につけさせるとともに、将来人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地を涵養することを目的として活動を実施してきました。主な活動は、避難訓練を4回、防火パレード1回、その他に入団式や幼年消防大会への参加などを行っています。



受賞を報告した両園長







